都市再生整備計画

新加納地区(第2回変更)

岐阜県　各務原市

平成25年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	各務原市	地区名	新加納地区	面積	37.4 ha

計画期間	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ～ 平成 26 年度

目標

大目標:『歴史的な趣と調和するまち並みの保全と安全・安心なまちづくり』
目標1:歴史的な趣を活かした、魅力・活気のあふれるまちづくりの推進を行う。
目標2:工場跡地を利用した、区画整理による低層住宅系の基盤整備を行い、地域の活性化を図る
目標3:歩行者が安全で安心に歩ける道づくりを行う。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

当地区は、各務原市の西部に位置し、周囲には東海北陸自動車道各務原インターチェンジ、名鉄新加納駅、国道21号、一般県道岐阜那加線が隣接し、利便性が良く、大型ショッピングセンターの建設等、国道沿いには商業施設が多数立地している。その一方、中山道新加納立場周辺として、趣のある建造物、神社仏閣、緑地など、歴史的な景観資源を多く残し、落着いた雰囲気の町並みが形成されている地区である。

現在では、地区南部に幹線道路(那加メーンロード)が整備され、中山道の交通量は少なくなっているが、地区内の道路が狭小であり、交通の利便性の良さに比べ宅地化が進行しておらず、逆に地区内の大規模な工場の移転が計画されるなど、地区の空洞化が懸念される状態である。

こうしたことから、中山道の立場周辺としての歴史性に配慮した沿道景観を保全・再生することにより、歴史文化に対する市民意識の向上を図り、落着いたまち並みの形成を進めつつ、当地区の交通の便を活かし、生活環境と利便性に優れた、市街地の創出を図る必要がある。

・平成20年に「中山新加納立場地区」として重点風景地区に指定し、景観法に基づく景観計画を定めている。
・各務原市都市計画マスタープランでは、沿道景観の保全整備、緑地の保全により落ち着いたまちなみの形成を図ることを目標としている。

課題

・歴史性に配慮した沿道景観の保全と再生により、落ち着いたまちづくりを行う必要がある。
・目標とするまち並みを形成していくにあたり、旧家屋を維持・改修していくには個人負担が大きいため助成等を行う必要がある。
・魅力ある落ち着いたまちづくりを推進していくためには、地元と行政各部協働による情報交換・創意工夫の取り組みが必要である。
・現在当地区には、来訪者及び地区の住民が憩う場所がないため、人々の滞留・交流機会が見込めない。
・地区内には神社仏閣などに多くの緑地が点在しており、適切な維持管理を行い保全していく必要がある。

将来ビジョン(中長期)

本地区は平成20年8月に「中山道新加納立場地区」として重点風景地区に指定されており、各務原市都市計画マスタープランにおいても重点整備地区として位置づけられ、歴史文化遺産の活用により、魅力と活力あふれるまちづくりを推進し、安心して楽しめる沿道空間を創出することにより、歴史的な趣と調和するまちなみの保全と再生を目指す。また、土地の有効利用を促進するため、(仮称)新加納土地区画整理事業を推進する。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.生活環境の改善	%	アンケートによる生活環境に満足している人数の割合	交通利便性を活かした地区整備により、景観形成基準に沿った良好な宅地整備を行い、地域の活性化を図る	29%	平成21年度	50%	平成26年度
2.地区内回遊者数	人	中山道新加納立場周辺の街道沿いにおいて、休日の午前10時から午後3時の間の歩行者数(まち歩き)	安心して歩ける道づくりや緑地、広場の整備を行い、地区内の歩行者数の増加を図る	2人	平成21年度	12人	平成26年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・歴史的な趣を活かした、魅力・活気にあふれるまちづくりの推進を行う。 ・中山道の修景整備、新加納立場広場の整備や、景観重要建造物の保存等により、歴史的な趣と調和するまち並み保全と再生を行い、魅力のあるまちづくりを行う。	■基幹事業　市道那691号線整備（高質空間形成施設（カラー舗装）） ■基幹事業　新加納立場広場整備（地域生活基盤施設（広場）） ■基幹事業　新加納駅前広場整備（地域生活基盤施設（広場）） □提案事業　景観重要建造物保存事業（地域創造支援事業） □提案事業　家屋等修景補助（地域創造支援事業） □提案事業　新加納立場整備イメージ作成（まちづくり活動推進事業）
・工場撤去跡地を利用し、土地区画整理による低層住宅系の基盤整備を行う。	■基幹事業　市道那787号線整備（道路） ■基幹事業　（仮）新加納地区土地区画整理事業（土地区画整理事業）
・遊歩道の整備や沿道緑地の整備を行い、歩行者が安全で安心に歩ける道づくりを行う。 ・中山道の歴史性に配慮した修景整備等により歴史的な趣のある道づくりを行う。	■基幹事業　市道那691号線整備（高質空間形成施設（カラー舗装）） ■基幹事業　市道那422号線整備（高質空間形成施設（カラー舗装）） ■基幹事業　市道那430号線整備（高質空間形成施設（カラー舗装）） ■基幹事業　市道那456号線整備（高質空間形成施設（カラー舗装）） ■基幹事業　市道那429号線整備（高質空間形成施設（カラー舗装）） ■基幹事業　市道那435号線外1整備（高質空間形成施設（カラー舗装））

その他

〇事業終了後の継続的なまちづくり活動

・今後は引き続き、当地区だけでなく、東西に続く旧中山道沿線についても歴史的な資源があることから、同様に旧街道として連続性のあるまち並みの形成が必要である。

・今回の事業期間における活動を通じ組織されるボランティア組織等との協働活動及び支援を行なう必要がある。

・住民・行政協働で定期的なﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ等の開催を行い、まちの魅力を持続させていく方策の検討を行う必要がある。

・他の中山道宿場町との連携・情報共有・共同企画事業の展開を図る必要がある。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	348	交付限度額	139.2	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路	道路	市道那787号線	各務原市	直	L=200m	22	26	22	25	114	114	114	0	114
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設（緑地）														
地域生活基盤施設（広場）		新加納立場広場整備	各務原市	直	A=50㎡	22	26	23	24	5	5	5	0	5
地域生活基盤施設（広場）		新加納駅前広場整備	各務原市	直	A=170㎡	24	26	25	26	24	24	24	0	24
高質空間形成施設（カラー舗装）		市道那691号線	各務原市	直	L=1,190m	22	26	25	26	34	34	34	0	34
高質空間形成施設（カラー舗装）		市道那422号線	各務原市	直	L=150m	24	26	24	25	30	30	30	0	30
高質空間形成施設（カラー舗装）		市道那456号線	各務原市	直	L=90m	24	26	25	26	20	20	20	0	20
高質空間形成施設（カラー舗装）		市道那430号線	各務原市	直	L=240m	24	26	25	26	21	21	21	0	21
高質空間形成施設（カラー舗装）		市道那429号線	各務原市	直	L=160m	24	26	24	25	12	12	12	0	12
高質空間形成施設（カラー舗装）		市道那435号線外1	各務原市	直	L=230m	24	26	24	24	48	48	48	0	48
高次都市施設														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
既存建造物活用事業														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業		（仮称）新加納地区土地区画整理事業	土地区画整理組合	間	3.0ha	21	30	22	26	87.5	22	22	0	22
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										396	330	330	0	330 …A

提案事業

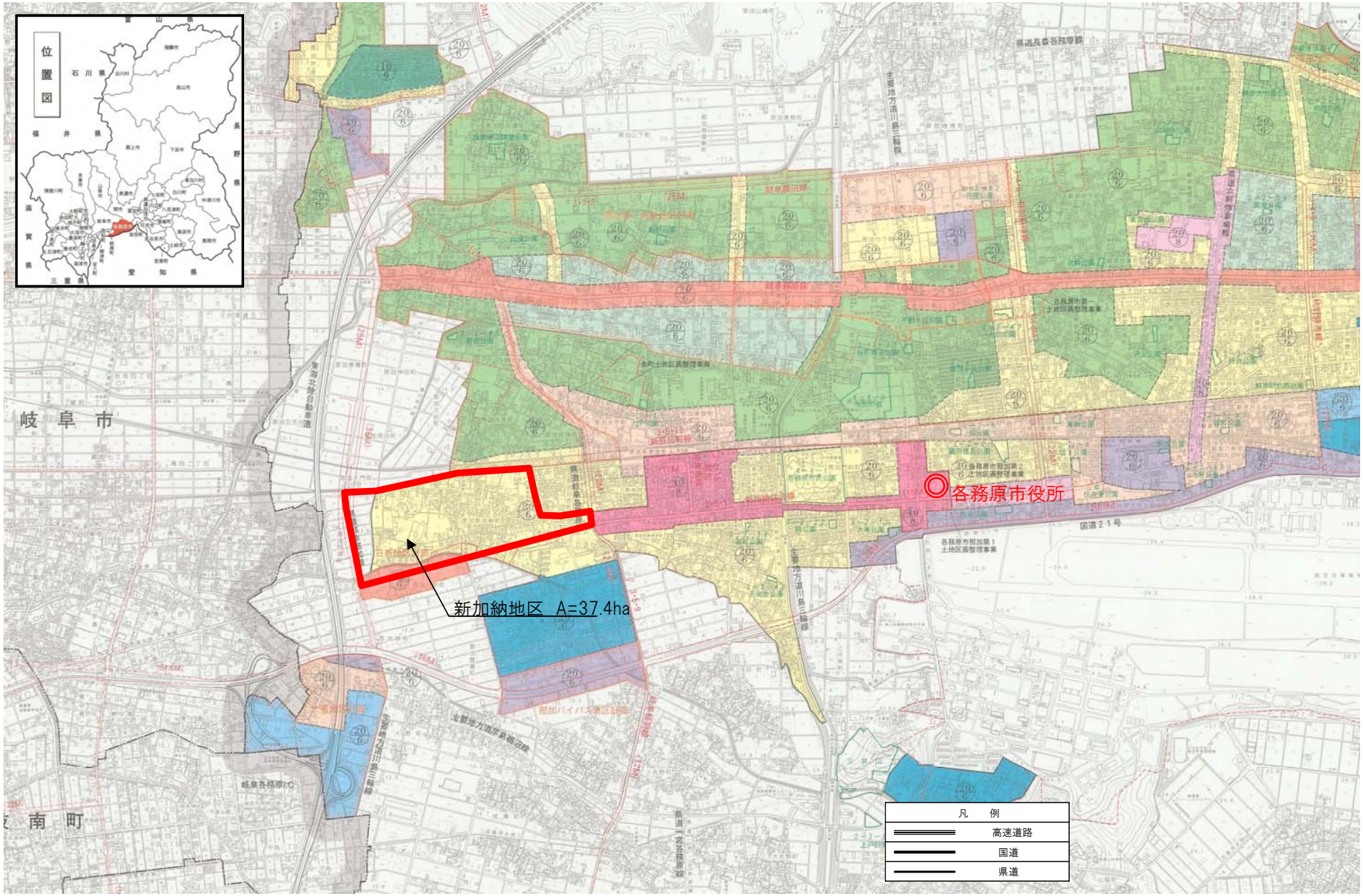
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	景観重要建造物保存事業		個人	間	1件	22	26	26	26	13	13	5	8	5
	家屋等修景補助	一般家屋等	個人	間	5件	22	26	25	26	15	15	5	10	5
	市道那675号線道路改良工事		各務原市	直	30m	25	25	25	25	2	2	2		2
事業活用調査	事業効果分析調査		各務原市	直	－	25	26	26	26	3	3	3		3
まちづくり活動推進事業	新加納立場整備イメージ作成	ー	各務原市	直	ー	22	25	22	25	3	3	3	0	3
														0
合計										36	36	18	18	18 …B
													合計(A+B)	348

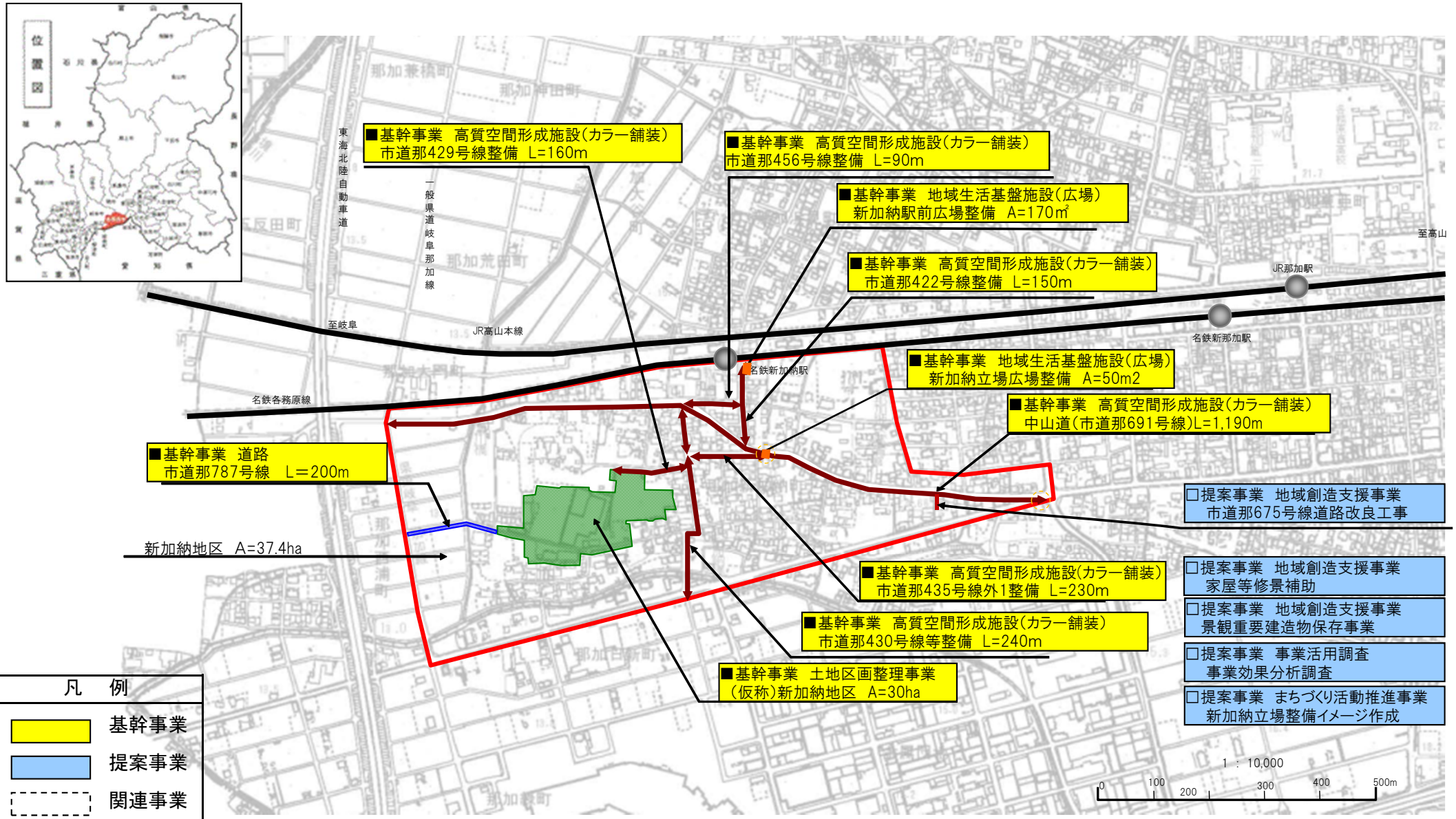
（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇） 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
合計											0

（参考図面）市街地整備

計画の名称	新加納地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	各務原市



新加納地区（岐阜県各務原市） 整備方針概要図

目標	歴史的な趣と調和するまち並みの保全と安全・安心なまちづくり	代表的な指標	生活環境の改善 （ % ）	29（%） （平成22年度） → 50（%） （平成26年度）
			地区内回遊者数 （ 人 ）	2（人） （平成22年度） → 12（人） （平成26年度）